

# HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 原 郁夫 幹事 柳川清紀 会報委員長 桐山晃忠



## ロータリー:変化をもたらす

2017年～2018年度国際ロータリー会長  
イアンH. S. ライズリー

第1590回例会 2018年3月15日(木)(晴)

司会 鈴木和夫副幹事

点鐘 原郁夫会長

合唱 「それこそロータリー」(山谷洋子さん)

御入会記念日 神崎さん(3/4)

御結婚記念日 中西さん(3/25)、酒井さん(3/27)  
陶山さん(3/28)

御誕生記念日 (会員)大屋さん(3/16)、北村俊さん(3/16)  
諸星利さん(4/4)  
(奥様・ご主人)酒井幸子さん(3/23)  
北村由美子さん(4/2)

### 会長の時間

○先週の植樹には、雨の中出席して頂いた方本当にご苦労様でした。大勢の方に出席頂いて無事に植樹出来ました。予報通り雨だったので、予定時間より早めにお集まりいただいた方々と予定の本数全てを植えました。本当にありがとうございました。

○今週、会長幹事会があり、毎回議題の中に出席率・会員増強・財団と米山の寄付の実績があります。また今週末

が「IM」となっているのでその話を中心となりました。我がクラブからは再三紹介しておりますが、「山谷さん」に発表をお願いしています。

○理事会の報告ですが、①周年行事の個人負担金については、例会時にも話がありましたように基金を取り崩して拠出ということで理事会で承認されました。②台湾東部地震への義捐金ですが、出席率もあまりよくなく例会変更も続いていたので、国際奉仕委員会から1,000円/人分を負担でしたが端数が出ることから50,000円を拠出することで承認されました。③植樹ですがメインの紅葉の前に記念碑を「秦野名水ロータリークラブ2017-2018年度植樹」と書き設置しました。④社会奉仕委員会から介護人のさくらんぼ狩りを今年も実施したいと思います。先日の理事会では6月11日(月)で計画しましたが諸事情により6月5日(火)で準備をしていきたいと思えます。社会奉仕委員の方中心によりしくお願い致します。⑤これから行われる地区協議会において、2016-2017年度(瀬戸年度)の財団の表彰が受けられるそうです。

会員数	33名
出席義務	33名
出席数	25名
出席率	75.76%
前々回の修正	81.82%

メークアップ	<b>【事後】</b>
	関さん(3/2 秦野中)
	加藤さん(3/4 伊勢原中 中央記念式典)
	木村さん(3/4 伊勢原中 中央記念式典)

本日のプログラム	3月15日
	○卓話
	諸星利さん

次週のプログラム	3月22日
	○例会変更
	第7グループ IM (3/17)に変更

<ガバナー事務所より>

①2016-2017年度 財団寄付クラブ表彰の件

締切: 3月20日(火)まで

## 幹事報告

### 【受付文書】

- ①ユニセフより、ロビンギャ難民への支援のお願い
- ②秦野市少年野球連盟より、春季大会開会式のご案内
- ③伊勢原中央RCより、記念式典の御礼状と写真
- ④米山記念奨学会より、ハイライト米山216

### 【例会変更】

《伊勢原中央》

3月26日(月)→ 3月24日(土) 秦野中RC創立  
40周年記念式典に振替

【本日の配布物】 ロータリーの友3月号、ガバナー月信  
3月号

## スマイル報告

- 原郁夫さん「先週の植樹には、雨の中参加頂きありがとうございました。」
- 柳川清紀さん「明後日17日の土曜日はIMです。名水からは山谷さんが発表しますので、皆さん出席の程よろしくお願ひします。」
- 鈴木和夫さん「春の気配を感じる今日この頃です。やっぱり春はいいですね。スマイルします。」
- 北村俊和さん「バースデーのお祝いありがとうございます。妻のバースデーありがとうございます。」
- 大屋富茂さん「明日3/16(金)、晴れて後期高齢者の仲間入りとなります。この年で、仕事に野球にロータリー活動に体を動かす事の出来る事に親に感謝でございます。ズバリ賞残念でした！」
- 北村まり子さん「スマイルします。」
- 桐山晃忠さん「夏を思わず天候ですが、花粉症には参ります。何とかならないでしょうか?無理ですね。」
- 関隆明さん「創業記念ありがとうございます。7年目になりました。」
- 陶山典之さん「結婚祝いありがとうございます。」
- 原恵美子さん「3月12日の結婚記念日に主人が山梨に食事に連れて行ってくれました。鉄板焼き美味しかったけれど最後に出てきたデザート、とても甘くて新婚時代を思い出しました。おのろけ失礼致しました。」
- 東島礼美さん「先週は、植樹ありがとうございました。大日如来さまも殊の外お喜びで恵の雨がたくさん降りました。是非、毎年観に記して下さい。」
- 古谷スミ子さん「さくらの開花も近くなってきました。「花の街はだの」がやってきますね。桜の花にスマイル

します。」

○前肇さん「スマイルします。」

○山谷洋子さん「IMリハーサルありがとうございました。その中で、今の英語はアメリカまたはイギリスかと聞かれました。その後英語科の教員に確認したところアメリカだそうです。訂正しお詫び致します。」

○酒井健一さん「結婚祝いありがとうございます。この時期は確定申告で忙しく忘れた振りをしています。」

合計 69,000円

## 委員会及びその他の報告

<柳川幹事より>

### ①IMについて

17日(土)に開催されますので、タイムスケジュールをお知らせします。

12:00-13:00 登録して下さい。昼食は1Fの多目的ホールで済ませて下さい。

13:00-13:10 合同例会

13:15-13:45 IM開会式

13:50-15:50 ミーティング 1クラブ/20分  
山谷さんは4番目の発表

16:00-17:00 記念講演

17:05-17:40 閉会式

17:50-19:00 懇親会

駐車場を利用される方は、配布しました駐車券を忘れずに持参願ひします。

### ②研修会について

再来週(29日)開催。於:陣屋

15:00- 次年度理事・役員会開催

16:30- 例会(含 研修会)

18:00- 懇親会

がありますので、車での参加も大丈夫です。

## 卓 話

《 諸星 利男さん 》



- 『健康寿命とは』を軸にお話ししたいと思います。健康寿命とは特に定義はありませんが、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」の

ことを言います。つまり不自由なく暮らせる時間の長さのことを言っています。

平均寿命とは、人間の生きている時間の長さ(生まれた時から長さ)、ずっと昔から平均余命を如何に伸ばすかということが厚生上の目標でしたが、最近は健康寿命を如何に楽しい時間を過ごし得るのか、不自由なく過ごし得る時間がどのくらいかという質的な意味合いが問われる社会になって来ております。これは高齢化社会に関連しているわけでありませぬ。

○現状はどうか?と申しますと、男性は80歳を超えています。女性は90歳近くまで来ています。

健康寿命は、男性は71歳・女性74歳となっています。徐々にではありますが、健康寿命は延長傾向にあります。そして平均寿命と健康寿命との差ですが、これは日常生活に制限のある「不健康」な期間のことで男性は約9年、女性約13年となっています。

○健康寿命の最大の敵は、自立度の低下や寝たきり状態で要支援・要介護状態のことを言います。

この原因は、①運動器の障害(骨粗鬆症等で骨折)、②脳血管疾患、③認知症(今後増えそう)、④老衰、⑤その他となります。

この原因を減らす = 介護度を減らすということと合致した問題で、社会としてはこういう方向で予防・又は健康生活が送れなくなった状態にどういったサポートをするのかというような方向性が今後の社会の流れになるかと思ひます。

○高齢化社会の現状ですが、秦野市でも高齢化率は限りなく30%に近い状態です。

高齢化率が上がるということと全人口が減って来ることが問題になっていますが、もっとも問題なことは高齢者をサポートする世代が減って来ってしまうということが一番の問題になります。

1965年では65歳以上のお年寄りを約9人でサポートしていましたが、現在は限りなく2人に近くいずれ30年後は1.2人になってしまうのではないかと考えられています。

これは何故か?と申しますと、日本の社会は1億人を超すような巨大な国家でありながら福利厚生が素晴らしく網羅されています。福祉の先進国といわれる北欧では人口がせいぜい3千万人ないくらいだと思ひます。このような違いがあるのに同等の質を作るのは難しいです。

よってある限られたグループを作ればより良い素晴らしい環境を作ることはできるかもしれませんが、我々は古い歴史をひきずってやってきているので、一朝一夕では難しいです。

そして、若い人が少なくなるということは一つの問題は

制度、介護保険制度・医療保険制度が維持できなくなるということです。そこで制度を守る、システムを維持していく人をサポートするというのも考えて行かなくてはなりません。

今考えられていることは、お年寄りがあまり介護のお世話にならず病気になるよう予防しながら自宅で生活できるようにすることが一番で、健康生活の最後の時間を過ごせれば良いと思ひます。そしてちょっと問題が起これば、老人クラブや自治会・NPO等地域の団体や組織がこのことを見守る(サポートする)ということで生活して頂けたら、お金もかからず・人手もかかりません。

もう少し介護度が上がった方には、デイサービスやヘルパーさんが訪問・医師が往診する ⇒ 在宅と言ひますが自宅より最適なサポートの下生活できるようにする。最終的に在宅も難しくなつた場合は施設等に入所し面倒を見てもらひます。

最近では、老人ホームでも昔のように「看取り」をしなればいけないのではという風潮が出てきています。それがどのようにしたらよいのか試行錯誤ですが、考えて行きたいと思ひます。

○最後に、何でもよいのでボランティア的に携わってみたいという方がおられましたら是非ご紹介いただきますようお願い致します。

